

富山市斎場再整備事業 審査講評

平成 30 年 12 月

富山市斎場再整備事業 PFI 事業者選定委員会

平成 30 年 4 月 27 日に「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（平成 11 年法律第 117 号）に基づき公募いたしました「富山市斎場再整備事業」（以下「本事業」という。）を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）の選定に関する審査講評をここに公表いたします。

平成 30 年 12 月 20 日

富山市斎場再整備事業 PFI 事業者選定委員会

委員長 伊庭 良知

委員 山本 雅資

委員 金平 剛

委員 今本 雅祥

委員 伊藤 曜一

富山市斎場再整備事業 審査講評

目次

1. 事業者選定の方法.....	1
2. 事業者選定の体制.....	1
3. 審査結果	1
(1) 提案書類の確認.....	1
(2) 基礎項目審査及び提案価格の確認.....	1
(3) 審査事項に係る評価.....	2
(4) 提案価格に係る評価.....	3
(5) 総合評価	3
4. 選定委員会 総評.....	3
添付資料 個別講評	6

1. 事業者選定の方法

本事業の事業者選定方式は公募プロポーザル方式であり、事業者の選定は参加資格審査及び提案審査により行った。参加資格審査では、応募者の資格要件について富山市（以下「市」という。）が審査を行った。

提案審査では、各業務に関する具体的な提案内容の加点項目審査を行い、審査事項評価点を算定し、提案価格から算定した提案価格評価点と合わせた総合評価点により最優秀提案の選定を行った。

提案審査については、応募者名（グループ名、代表企業名、構成員名及び協力企業名）を一切伏せて行った。なお、本事業には1グループから参加表明があり、グループ名を伏せるため、E-2グループとして審査を行った。

2. 事業者選定の体制

提案審査にあたっては、市が設置した「富山市斎場再整備事業PFI事業者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）の委員が応募者から提出された提案書類の審査を行い、最優秀提案を選定した。選定委員会の構成は、以下のとおりである。

委員長	伊庭 良知	NPO 法人全国地域PFI協会 理事長
委員	山本 雅資	富山大学極東地域研究センター 教授
委員	金平 剛	金平剛公認会計士事務所
委員	今本 雅祥	富山市 副市長
委員	伊藤 曜一	富山市 環境部長

（敬称略）

3. 審査結果

（1）提案書類の確認

提出された提案書類がすべて募集要項等の指定どおりに揃っているかを市において確認した。この結果、すべての応募者について提案書類が揃っていることが確認された。

（2）基礎項目審査及び提案価格の確認

応募者の提案内容が、優先交渉権者選定基準「別紙1 基礎項目審査の評価基準」に掲げる基礎審査項目を充足していること、及び提案価格が予定価格（提案価格の上限価格）を超えていないことについて市が審査、確認を行った。この結果、すべての応募者について基礎審査項目を充足しており、提案価格が予定価格を超えていないことが確認された。

(3) 審査事項に係る評価

1) 審査方法

基礎項目審査において適格とされた提案について、選定委員会において審査事項に係る評価として審査を行った。

審査事項審査は、応募者の提案内容を、以下に示す審査事項について評価し、加点基準に応じて得点（加点）を付与した。

【審査事項】

審査事項	配点	備考
① 事業計画に関する事項	90	配点の割合：最高 700 点中 13%
② 施設整備業務に関する事項	300	配点の割合：最高 700 点中 43%
③ 維持管理業務に関する事項	100	配点の割合：最高 700 点中 14%
④ 運營業務に関する事項	130	配点の割合：最高 700 点中 19%
⑤ 独自の提案に関する事項	80	配点の割合：最高 700 点中 11%
合計	700	

【加点基準】

評価	評価内容	採点基準
A	各審査事項※に関して特に優れた提案がある	配点×1.00
B	各審査事項※に関して優れた提案がある	配点×0.75
C	各審査事項※に関して標準的な提案である	配点×0.50
D	各審査事項※に関して評価できる提案が多少ある	配点×0.25
E	各審査事項※に関して評価できる提案がない	配点×0.00

※ 「優先交渉権者選定基準 別紙2 審査事項及び審査の視点【一覧】」の小項目を参照

2) 審査事項に係る評価点（審査事項評価点）の算定結果

審査事項	配点	E-2 グループ
① 事業計画に関する事項	90	066.0
② 施設整備業務に関する事項	300	214.5
③ 維持管理業務に関する事項	100	070.0
④ 運營業務に関する事項	130	093.5
⑤ 独自の提案に関する事項	80	052.0
合計	700	496.0

※優先交渉権者選定基準に基づき、小数第2位を四捨五入した。

(4) 提案価格に係る評価

提案価格評価点については、提案価格書に記載された提案価格をもとに次式により算定した。

$$\text{提案価格評価点} = 300 \times \frac{\text{最低の提案価格（光熱水費相当額を除く）}}{\text{提案価格（光熱水費相当額を除く）}}$$

※最低価格を提示した提案に満点（300点）を付与する。

項目	E-2 グループ 得点
提案価格	6,713,512,500 円
提案価格（光熱水費相当額を除く）	6,202,971,192 円
提案価格評価点	300

※提案価格は消費税及び地方消費税を含まない金額。

(5) 総合評価

選定委員会において審査事項評価点を決定した後、応募者の審査事項評価点と提案価格評価点を合計した値を総合評価点とし、総合評価点が最高となった E-2 グループを最優秀提案として選定し、市に報告した。

$$\text{総合評価点} = \text{審査事項評価点（最高 700 点）} + \text{提案価格評価点（最高 300 点）}$$

項目	配点	E-2 グループ 得点
審査事項評価点	700	496
価格評価点	300	300
総合評価点	1,000	796
順位		1 位

4. 選定委員会 総評

本事業には1グループから提案があった。今回、最優秀提案として選定した E-2 グループの総評を述べる。

まず、同グループの提案は、民間事業者ならではの創意工夫が盛り込まれており、全般として評価できる内容であった。しかしながら、現斎場における課題の分析と、その解決に向けた取り組みへの視点や、ご遺族や会葬者等の側に立った計画とするためには、更なる改善の余地があると考えられ、これまでの斎場運営で培った経験やノウハウを十分に活かしてほしいとの意見があった。

事業計画については、資金調達計画が具体的であり、複層的なセルフモニタリングやリスク管理等の体制が確立されていることが評価された。他方、リスクの分析が一般論にとどまり、具体的なリスクの想定がなされていないとの意見があった。

施設整備業務については、景観に配慮した低層でシンプルな施設計画、冬季の風や雪を考慮した深い軒下の計画、市内の斎場では例のないキッズスペースや授乳室の計画、火葬炉等の主要機器における将来の修繕を見越した配置計画や、更新の際の工期短縮が図れる工夫などが高く評価された。その反面、動線計画や誘導サイン（誘導案内）計画については、ご遺族や会葬者等への配慮が十分ではなく、多様な動線の集中による錯綜が考えられること等から、利用者の立場に立った計画となるよう改善が望まれる。

維持管理業務については、IOT を活用した予防保全システムによる火葬炉の遠隔診断と、データ分析結果に基づく定期点検やメンテナンスの実施、遠隔操作によるトラブルからの迅速な復旧が可能な点などが評価された。

運營業務については、充実した職員研修の実施や、予約システムの活用による人為的ミスやトラブルの防止策等が高く評価された。他方、ご遺族や会葬者、利用者のニーズを踏まえたサービス向上の観点からは物足りなさが感じられた。

独自の提案については、近年の社会情勢を踏まえた提案であること及び地元企業の参画による地域経済への貢献については評価されたが、実現性については疑問との意見も出された。

なお、審査項目ごとの講評については、個別講評として、添付資料にまとめた。

選定された E-2 グループにおいては、これまでの経験やノウハウを最大限に活かして、提案内容を確実に実現するとともに、市においては業務水準の維持・向上のための継続的なモニタリングを実施されたい。さらに、市と事業者間で良好なパートナーシップを構築し、人生の終えんの場としてふさわしい富山市ならではの斎場の実現に期待する。

また、提案時点で具体的な検討がなされていない事項や、改善を必要とする事項も多く見受けられたことから、それらの点に係る詳細な検討・検証を行うとともに、特に以下の事項についての対応・工夫・配慮等を、選定委員会として強く要望する。

- ・施設整備については、現斎場の運営や北陸電力導水管への影響がないよう市と十分に協議していただきたい。特に、盛土による地盤高の嵩上げについては計画見直しを含めて対応を検討していただきたい。
- ・動線計画、誘導サイン（誘導案内）計画については、利用者（特に施設を初めて利用するご遺族、会葬者）のわかりやすさに十分配慮し、敷地の出入口、構内道路、駐車場における安全性を十分に考慮した計画となるよう改善を図られたい。
- ・環境配慮について、「環境モデル都市」「環境未来都市」である富山市の新斎場にふさわしい取り組みをしていただきたい。オプション提案とされた水素の活用についても、

公的補助金の拡充を働き掛ける等、実現可能性の検討と実現に向けた努力をしていただきたい。

- ・維持管理業務、運營業務については、現斎場と同等のサービス水準にとどまらず、市民サービスの向上につながる具体的な工夫をしていただきたい。特に、ご遺族や会葬者への対応については、付加価値が生まれるような対応・サービスとなるよう努力されたい。
- ・施設整備費、維持管理費については、積極的なコスト削減に取り組んでいただきたい。
- ・建中金利、リスク対応費等については、リスクが顕在化しない場合には市に返還することも含めて、検討していただきたい。

以 上

添付資料 個別講評

審査事項		E-2 グループ
事業計画に関する事項	基本方針、実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 斎場の役割について理解されている。 ・ 「環境モデル都市」「環境未来都市」にふさわしい斎場とする意識を持ってほしい。 ・ 現斎場の課題を分析し解決するという視点を常に持ってほしい。
	事業収支計画の安定性等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の地元金融機関と融資について協議が進んでおり、資金調達の確実性が評価できる。 ・ 資金調達コスト、施設整備費、維持管理費等にコストダウンの余地があるように見受けられる。 ・ 建中金利が高いように思われる。リスクを見込んだものと思われるが、リスクが顕在化しなかった場合には市へ返還することを検討してほしい。
	リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複層的なリスク管理体制となっている点が評価できる。 ・ 多数の斎場運営経験があるとの記載があるにも関わらず、事業期間中のリスクの想定及び対応策が一般的・抽象的な内容にとどまっている。
施設整備業務に関する事項	配置計画、動線及び外構計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動線計画、誘導サイン（誘導案内）計画については、利用者（特に施設を初めて利用するご遺族、会葬者）のわかりやすさに十分配慮してほしい。また、県道と接続する出入口、構内道路、駐車場の安全性について十分に考慮した計画としてほしい。 ・ サービス・管理車両の進入及び駐車に支障のないヤードスペースの確保について配慮してほしい。 ・ 敷地内の盛土により地盤高を嵩上げする提案について、現段階では具体的な造成計画が示されておらず、また、緑地帯や樹木類の配置等の外構計画についても漠然としていることから、十分な検討を行ってほしい。 ・ 横長の建物の両端にエレベーターと階段を配置する計画は、利用者の歩行動線を長くする原因となり、高齢者等に対する配慮が十分でない。

	施設整備計画	<ul style="list-style-type: none"> ・低層でシンプルな外観は、近隣景観への配慮がなされており高く評価できる。 ・エントランスホールにおける風除けの対策（風除室の設置等）については市と十分に協議してほしい。 ・屋根や駐車場の積雪対策について十分に検討してほしい。 ・立山連峰の眺望を待合エリアに生かした、富山市らしい施設づくりの工夫は評価できる。さらに、その軒下を車寄せとして整備し、利用者が雨風で濡れることがないように工夫されている点は高く評価できる。 ・駐車場からエントランスまでの歩行者通路についても、利用者が雨風で濡れることがないように十分に配慮してほしい。 ・1階と2階にうまく機能を分けていること、需要の最大化に備えた待合ホールの柔軟活用の提案は評価できる。 ・盛土により地盤高を嵩上げする計画において、県道と接続する出入口の勾配や北陸電力導水管への影響が懸念されるため、十分に検討し改善されたい。
	火葬炉設備計画	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬炉の性能については評価できる。 ・将来的な葬送習慣の変化を視野に入れた設備の計画については評価できる。 ・主要機器の将来的な修繕を見越した配置計画や、上下分割式の火葬炉による、更新時の工期短縮が図られていること等は高く評価できる。
	予約システム等整備計画	<ul style="list-style-type: none"> ・人為的なミスやトラブルを防止する工夫について高く評価できる。 ・予約受付システムと連動した場内案内表示器の設置については、運營業務の省力化と、ご遺族や会葬者の効率的な施設利用に資する点で評価できる。
	環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電の導入、火葬炉設備の排熱利用や自然採光については評価できるが、「環境モデル都市」「環境未来都市」である富山市の新斎場として、さらに踏み込んだ先進的な提案がほしかった。
	防災計画	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時にあっても火葬業務の円滑な遂行を第一として考えている点は評価できるが、本来重要であるはずの斎場利用者への対応についてイメージできない。

	施工計画	<ul style="list-style-type: none"> ・現斎場から新斎場への切り替え時における、構内道路の施工方法や時期など、施工計画、工程計画に不明確な点が散見されるため、市と十分に協議してほしい。 ・工事期間中のご遺族や会葬者への配慮計画は十分に検討されているが、実現性についても担保してほしい。 ・防音対策シート等のデザインに配慮し、現斎場利用者の心情等にも十分配慮した計画としてほしい。
維持管理業務に関する事項	維持管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の市民サービス水準の維持にとどまらず、付加価値が生まれるような工夫をしてほしい。 ・地元の企業、人材の活用についての具体案がなくイメージが掴めない。
	維持管理計画	<ul style="list-style-type: none"> ・IoTを活用した予防保全システムや、データに基づいた火葬炉設備の点検、メンテナンスなどは高く評価できる。 ・市の財政負担が軽減される工夫について具体性に欠ける。 ・ランニングコスト削減の余地があるように見受けられるため、コスト削減の努力をしてほしい。
運営業務に関する事項	運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の火葬需要の増加を見越した運営体制となっていることや、他の斎場からの応援体制については評価できる。 ・待合室や多目的室の利用イメージが不明瞭。 ・災害時の対応は、周辺住民の一時避難対応の部分は評価できるが、ご遺族や会葬者への対応、ご遺体集中時の対応についての提案がほとんどなく、改善の余地がある。 ・職員に対する個人評価モニタリングの実施は評価できる。 ・利用者満足度などの確認手法が最新のものではない。
	運営計画	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修を重視していることは評価できる。 ・利用者の立場に立った計画となっていない。特に、ご遺族や会葬者を誘導する体制、方法等について、提案書からは読み取れない。 ・利用者サービスの向上について工夫の余地がある。 ・個人情報に記載される文書の量、種類について分析されていない。一般的な対応にとどまるように思われる。

独自の提案に関する事項	事業者独自のノウハウやアイデアに基づく提案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県人会を通じたいわゆる「火葬難民」の受け入れは、現代社会問題の一つの解決策であり、また、施設の稼働率アップにつながるため評価できる。 ・ 遠隔地からのご遺体の受け入れが、市の財政負担軽減や市民サービスの向上にどのように資するのかが不明。 ・ オプション提案とされた水素の導入については、積極的に検討してほしい。
	地域社会・経済への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の行事や活動に積極的に参加しようとする点については高く評価できる。 ・ 地元企業の活用については評価できる。